

人と防災未来センターへ見学に行きました！！

東日本部門（UNESCO クラブ・東日本大震災被災地応援部門の略称）では、4月29日に「防災体験学習」として神戸市・人と防災未来センターへ行きました。この施設は1995年に起きた阪神淡路大震災の経験と教訓を継承し、防災・減災の実現のために必要な情報を発信する施設です。「こころのシアター」「1.17シアター（プロジェクションマッピング）」「大震災ホール」の映像を見ることによって、参加した生徒9名は過去の災害と未来に起きるかもしれない災害のこわさを知ることができました。



今回、防災センターを見学し、災害について学び、災害が実際に起きたときの姉妹の会話を再現した動画がとても印象に残りました。家が崩れ下敷きになり出られなくなった姉は「いいから逃げて」と言っていました。もし自分がその立場だったら、自分のせいで逃げることをためらっている人を見て「助けて」より「逃げて」なんて言えるのだろうかと。反対に逃げられない人が目の前にいるのに自分だけ逃げられるのかと考えさせられました。そして災害時に冷静に判断できる力が必要だと感じました。これをきっかけに災害についてもっと知るべきだと思いました。見学をしてよかったです。 高校3年 Wさんの感想より

「防災・防災体験フロア」では災害時に必要となる備蓄用品が展示されていました。（裏面のチェックリストも皆さん是非！活用してみてください！）

また「BOSAIサイエンスフィールド」では、自然災害が発生する仕組みを知ることができました。ミッションルームで大型台風による緊急避難行動をVR体験や施設職員の丁寧な説明により疑似体験もできました。

南京町（中華街）で昼食をとり、雨が止んだ後に震災メモリアルパークの周辺を散策しました。防波扉が設置されていたり、地震によって傾いた街灯のあとを直接見ることができました。この日は最大風速15m/sになるほどの強風でした。飛ばされそうになりそうな海風を体験しましたが、皆無事に岐路に戻ることができました。



いつ避難する？



中学2年生によるコメント



